

記述と一致しないところが見受けられる。子囊菌、担子菌について言えば、形態に基づく従来の分類と最新の分子生物学に基づく分類の対比があれば、今後の課題がさらに明白に理解できたかも知れない。(黒川 遼)

□Yakubov V. V. and Chernyagina : **Catalog of Flora of Kamchatka (Vascular Plants)** 165 pp. 2004. A4版. Izdatel'stvo Kamchatpress, Petropavlovsk-Kamchatsky. No. ISBN number.

カムチャツカ半島に生育する維管束植物のリストであり、本文はロシア語で書かれている。本書はハードカバー、印刷は鮮明で、紙質も良く、1980年代から90年代にかけて出版された極東維管束植物誌(全8巻)とは隔世の感がある。ところどころにA6サイズ(葉書大)でクオリティの高い線画が挿入されている。本自体はA4版なので、この線画がとても見やすい。多くのロシアの学術書がそうであるように、本書も引用文献のリストが充実している(もっとも入手困難なものが多いが)。北東アジアのフロラに関心のある人には必携の書であると思われる。定価はついていない。入手を希望される方は著者のヤクボフ博士に問い合わせてみたらどうだろうか?彼のメールアドレスは yakubov@ibss.dvo.ru である。なお、博士はロシア極東地方産維管束植物のカラー図鑑の刊行を準備中だということである。(門田裕一)

□Machalova O. A. and Yakubov V. V. : **Flora of Commander Islands** 120 pp. 2004. Institute of Biology & Soil Sciences, Vladivostok. ISBN: 5-7442-1380-5.

前掲書の著者の一人であるヤクボフ博士が関わった書をもう一つ紹介する。本書はコマンダー(コマンドルスキー)諸島に生育する維管束植物のリストである。こちらも本文は

ロシア語だが、サイズはB5版で冊子風、線画も同諸島の簡単な地図のほかにはない。こちらも参考文献は充実している。前掲書と併せて、いわゆる北太平洋要素の植物の分布を調べる時に役立つと思われる。(門田裕一)

□大場秀章:大場秀章著作選Ⅰ 植物学史・植物文化史 419 pp. 2006. ¥4,800. A5. 八坂書房. ISBN: 4-89694-788-6.

本年四月で定年退職する著者の多くの作品を、改めて整理し、書き改めたもので、二巻となる予定である。本巻では植物学史、植物文化史関係を扱ったもので、初出一覧によると22点の作品から抽出されている。

第一部植物学における知の体系化、第二部日本近代植物学への架け橋—江戸・明治の巨人たち、第三部日本の植物に魅せられた人々、の三部より成る。第一部では、分類という作業の発展にともなう命名の必要性から、学名の誕生と発達、それを裏付ける標本と標本館の意義、転じてヨーロッパ本草書の紹介と評価におよぶ、第二部は江戸末期から明治へかけて、日本の近代植物分類学の発達にかかわりを持つ本草家、研究者、植物画家の紹介である。第三部では第二部との関係で、ヨーロッパ植物学を日本へもたらし、また日本植物を世界に紹介した人たち、ケンペル、ツェンベルグ、シーボルト、ミクエルの業績の再検討がなされている。

著者は前書きに「既知の文献・資料を活用して、私なりの解釈や評価を述べたに過ぎない」と記しているが、文中至る所にそういう解釈や評価が散りばめられ、博引旁証、各章の参考文献や注記は240件を超える。非常に読みでのある一冊である。Ⅱ巻は植物分類学・植物地理生態学と題するものだそうで、期待される。(金井弘夫)